

調查結果

第1部 学校施設調査

看護学校の実態を明らかにするために、学校施設調査では、「学校の概要」、「受験と入学」、「在校生」、「在校生の就業」、「学校の設備」、「臨床実習」、「学校の職員」、「学校の業務」、「卒業と就職」、「学校の財政」を中心に質問を構成した。また、平成2年度から実施している「新カリキュラム」についても質問をした。

I 学校の概要

1. 学校の設置課程

調査対象校が、どのような課程を設置しているのかを複数回答でたずねた。その結果を『単独課程校』と『複数課程併設校（2課程併設、3課程併設、4課程併設）』とにまとめたのが、表1である。

回答校では、「進学コース」を除く各課程の7割以上が、単独課程校で占めてられていた。「進学コース」においては、単独課程校が57.6%と他の課程に比べてやや低い割合となっており、複数課程併設の割合は、42.4%と一番高かった。

2. 学校の所在地

各都道府県ごとの回答校数と各都道府県別の回収率などを示したのが、表2である。

回答校の全国分布は、『東京都』を除き、調査対象校の全国分布とほぼ同じような割合を示していた。

回収率が8割以上あったのは、『石川』『熊本』『高知』『三重』『大分』『鳥取』『静岡』の7県であった。

3. 学校の設置主体

表3から、回答校の設置主体は、「高校衛看」では『都道府県』（56.3%）が、「准看学校」では『医師会』（64.5%）が、「進学コース」では『都道府県』（22.0%）と『医師会』（19.7%）が、「3年課程」では『国（厚生省）』（21.0%）と『都道府県』（20.0%）が設置主体である割合が一番高かった。「短大」と「大学」では、『国（文部省）』と『学校法人』が設置主体である割合が3割以上と高く、国公立と私立との比率は約3：2と国公立の割合が高かった。

設置主体が『その他の法人』のうちで、『財団法人』が49校、『社団法人』が15校あった。また、設置主体が『その他』のうち、『会社・企業』が6校、『組合』が4校あった。

表1 複数課程併設校の類型

	高 校 衛 看	准 看 学 校	進 学 コ ー ス	3 年 課 程	短 大	大 学*	全 体
〔2課程併設校〕							
高校衛看：全日制+看護高校専攻科	15 (100.0)	0 (—)	19 (18.6)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	34 (16.2)
高校衛看：全日制+2年課程：全日制	0 (—)	0 (—)	2 (2.0)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	2 (1.0)
准看学校+3年課程：全日制	0 (—)	1 (2.0)	0 (—)	1 (2.9)	0 (—)	0 (—)	2 (1.0)
准看学校+2年課程：全日制	0 (—)	4 (8.0)	3 (2.9)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	7 (3.3)
准看学校+2年課程：定時制	0 (—)	45 (90.0)	39 (38.2)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	84 (40.0)
3年課程：全日制+3年課程：定時制	0 (—)	0 (—)	0 (—)	3 (8.6)	0 (—)	0 (—)	3 (1.4)
3年課程：全日制+2年課程：全日制	0 (—)	0 (—)	16 (15.7)	17 (48.6)	0 (—)	0 (—)	33 (15.7)
3年課程：全日制+2年課程：定時制	0 (—)	0 (—)	13 (12.7)	13 (37.1)	0 (—)	0 (—)	26 (12.4)
3年課程：定時制+2年課程：定時制	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (2.9)	0 (—)	0 (—)	1 (0.5)
2年課程：全日制+2年課程：定時制	0 (—)	0 (—)	1 (1.0)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (0.5)
短大：3年課程+短大：2年課程	0 (—)	0 (—)	9 (8.8)	0 (—)	7 (87.5)	0 (—)	16 (7.6)
短大：3年課程+大学	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (12.5)	0 (—)	1 (0.5)
2課程併設校の総数	15 (100.0)	50 (100.0)	102 (100.0)	35 (100.0)	8 (100.0)	0 (—)	210 (100.0)
〔3課程併設校〕							
高校衛看：定時制+3年課程：全日制 +2年課程：定時制	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (10.0)	0 (—)	0 (—)	1 (3.8)
准看学校+3年課程：全日制+2年課程：定時制	0 (—)	5 (71.4)	7 (77.8)	6 (60.0)	0 (—)	0 (—)	18 (69.2)
准看学校+3年課程：定時制+2年課程：定時制	0 (—)	1 (14.3)	2 (22.2)	1 (10.0)	0 (—)	0 (—)	4 (15.4)
准看学校+2年課程：全日制+大学	0 (—)	1 (14.3)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (3.8)
3年課程：全日制+3年課程：定時制 +2年課程：定時制	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (10.0)	0 (—)	0 (—)	1 (3.8)
3年課程：全日制+2年課程：全日制 +2年課程：定時制	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (10.0)	0 (—)	0 (—)	1 (3.8)
3課程併設校の総数	0 (—)	7 (100.0)	9 (100.0)	10 (100.0)	0 (—)	0 (—)	26 (100.0)
〔4課程併設校〕							
准看学校+3年課程：全日制+3年課程：定時制 +2年課程：定時制	0 (—)	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (—)	0 (—)	3 (100.0)
4課程併設校の総数	0 (—)	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (—)	0 (—)	3 (100.0)
複数課程併設校の総数	15 (23.4)	58 (20.8)	112 (42.4)	46 (15.3)	8 (18.2)	0 (—)	239 (24.9)
単独課程校の総数	49 (76.6)	221 (79.2)	152 (57.6)	254 (84.7)	36 (81.8)	0 (—)	722 (75.1)
学 校 総 数	64 (100.0)	279 (100.0)	264 (100.0)	300 (100.0)	44 (100.0)	10 (100.0)	961 (100.0)

註) *大学の場合は、すべて単独課程とした。

看護教育調査

表2 学校の所在地と都道府県別回収率

	高校衛看	准看学校	進 学 コ ー ス	3年課程	短大	大 学	全 体		
							計	調 査 対 象 数	回収率 (%)
北海道	2(3.1)	14(5.0)	8(3.0)	26(8.7)	2(4.5)	0(—)	52(5.4)	81(5.5)	64.2
青森	3(4.7)	6(2.2)	4(1.5)	3(1.0)	1(2.3)	1(10.0)	18(1.9)	26(1.8)	69.2
岩手	1(1.6)	5(1.8)	3(1.1)	6(2.0)	1(2.3)	0(—)	16(1.7)	23(1.6)	69.6
宮城	1(1.6)	7(2.5)	2(0.8)	4(1.3)	1(2.3)	0(—)	15(1.6)	23(1.6)	65.2
秋田	2(3.1)	3(1.1)	2(0.8)	3(1.0)	1(2.3)	0(—)	11(1.1)	14(0.9)	78.6
山形	2(3.1)	1(0.4)	1(0.4)	3(1.0)	0(—)	0(—)	7(0.7)	13(0.9)	53.8
福島	1(1.6)	7(2.5)	4(1.5)	10(3.3)	0(—)	0(—)	22(2.3)	28(1.9)	78.6
茨城	2(3.1)	2(0.7)	4(1.5)	7(2.3)	1(2.3)	0(—)	16(1.7)	29(2.0)	55.2
栃木	1(1.6)	10(3.6)	3(1.1)	2(0.7)	1(2.3)	0(—)	17(1.8)	26(1.8)	65.4
群馬	0(—)	6(2.2)	4(1.5)	3(1.0)	1(2.3)	0(—)	14(1.5)	26(1.8)	53.8
埼玉	1(1.6)	12(4.3)	10(3.8)	11(3.7)	1(2.3)	0(—)	35(3.6)	57(3.8)	61.4
千葉	0(—)	7(2.5)	7(2.7)	14(4.7)	1(2.3)	1(10.0)	30(3.1)	49(3.3)	61.2
東京都	1(1.6)	13(4.7)	18(6.8)	17(5.7)	4(9.1)	3(30.0)	56(5.8)	106(7.1)	52.8
神奈川県	1(1.6)	8(2.9)	12(4.5)	11(3.7)	0(—)	1(10.0)	33(3.4)	57(3.8)	57.9
新潟	2(3.1)	3(1.1)	3(1.1)	7(2.3)	1(2.3)	0(—)	16(1.7)	24(1.6)	66.7
富山	2(3.1)	2(0.7)	3(1.1)	5(1.7)	0(—)	0(—)	12(1.2)	17(1.1)	70.6
石川	1(1.6)	4(1.4)	4(1.5)	6(2.0)	1(2.3)	0(—)	16(1.7)	18(1.2)	88.9
福井	1(1.6)	3(1.1)	3(1.1)	1(0.3)	1(2.3)	0(—)	9(0.9)	16(1.1)	56.3
山梨	0(—)	1(0.4)	3(1.1)	3(1.0)	0(—)	0(—)	7(0.7)	11(0.7)	63.6
長野	2(3.1)	4(1.4)	1(0.4)	5(1.7)	1(2.3)	0(—)	13(1.4)	27(1.8)	48.1
岐阜	1(1.6)	5(1.8)	4(1.5)	5(1.7)	1(2.3)	0(—)	16(1.7)	33(2.2)	48.5
静岡県	4(6.3)	6(2.2)	2(0.8)	11(3.7)	1(2.3)	0(—)	24(2.5)	30(2.0)	80.0
愛知県	0(—)	15(5.4)	18(6.8)	15(5.0)	4(9.1)	1(10.0)	53(5.5)	76(5.1)	69.7
三重	1(1.6)	5(1.8)	5(1.9)	6(2.0)	2(4.5)	0(—)	19(2.0)	23(1.6)	82.6
滋賀	1(1.6)	3(1.1)	2(0.8)	5(1.7)	0(—)	0(—)	11(1.1)	14(0.9)	78.6
京都	1(1.6)	4(1.4)	6(2.3)	10(3.3)	1(2.3)	0(—)	22(2.3)	30(2.0)	73.3
大阪	0(—)	10(3.6)	24(9.1)	25(8.3)	2(4.5)	0(—)	61(6.3)	89(6.0)	68.5
兵庫県	1(1.6)	10(3.6)	11(4.2)	8(2.7)	2(4.5)	0(—)	32(3.3)	46(3.1)	69.6
奈良	0(—)	4(1.4)	2(0.8)	5(1.7)	0(—)	0(—)	11(1.1)	20(1.3)	55.0
和歌山	1(1.6)	4(1.4)	3(1.1)	4(1.3)	0(—)	0(—)	12(1.2)	16(1.1)	75.0
鳥取	0(—)	3(1.1)	2(0.8)	4(1.3)	0(—)	0(—)	9(0.9)	11(0.7)	81.8
島根	0(—)	2(0.7)	1(0.4)	4(1.3)	1(2.3)	0(—)	8(0.8)	11(0.7)	72.7
岡山	4(6.3)	9(3.2)	8(3.0)	4(1.3)	3(6.8)	0(—)	28(2.9)	42(2.8)	66.7
広島	1(1.6)	2(0.7)	7(2.7)	5(1.7)	0(—)	0(—)	15(1.6)	31(2.1)	48.4
山口	2(3.1)	9(3.2)	7(2.7)	3(1.0)	1(2.3)	0(—)	22(2.3)	30(2.0)	73.3
徳島	0(—)	2(0.7)	3(1.1)	3(1.0)	1(2.3)	0(—)	9(0.9)	14(0.9)	64.3
香川	1(1.6)	8(2.9)	4(1.5)	4(1.3)	0(—)	0(—)	17(1.8)	25(1.7)	68.0
愛媛	3(4.7)	7(2.5)	5(1.9)	2(0.7)	1(2.3)	0(—)	18(1.9)	29(2.0)	62.1
高知	2(3.1)	2(0.7)	4(1.5)	1(0.3)	0(—)	1(10.0)	10(1.0)	12(0.8)	83.3
福岡	2(3.1)	12(4.3)	11(4.2)	13(4.3)	2(4.5)	0(—)	40(4.2)	70(4.7)	57.1
佐賀	0(—)	6(2.2)	5(1.9)	3(1.0)	0(—)	0(—)	14(1.5)	18(1.2)	77.8
長崎	2(3.1)	4(1.4)	4(1.5)	2(0.7)	1(2.3)	0(—)	13(1.4)	21(1.4)	61.9
熊本	2(3.1)	10(3.6)	8(3.0)	4(1.3)	1(2.3)	1(10.0)	26(2.7)	30(2.0)	86.7
大分	4(6.3)	5(1.8)	8(3.0)	2(0.7)	0(—)	0(—)	19(2.0)	23(1.6)	82.6
宮崎	1(1.6)	5(1.8)	2(0.8)	1(0.3)	0(—)	0(—)	9(0.9)	23(1.6)	39.1
鹿児島	3(4.7)	8(2.9)	9(3.4)	4(1.3)	1(2.3)	0(—)	25(2.6)	38(2.6)	65.8
沖縄	1(1.6)	1(0.4)	0(—)	0(—)	0(—)	1(10.0)	3(0.3)	7(0.5)	42.9
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)	1,483(100.0)	64.8

表3 学校の設置主体

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大 学	全 体
国(厚生省)	0 (—)	8 (2.9)	18 (6.8)	63 (21.0)	0 (—)	0 (—)	89 (9.3)
国(文部省)	1 (1.6)	0 (—)	1 (0.4)	3 (1.0)	19 (43.2)	5 (50.0)	29 (3.0)
国(その他)	0 (—)	4 (1.4)	0 (—)	5 (1.7)	0 (—)	0 (—)	9 (0.9)
都道府県	36 (56.3)	4 (1.4)	58 (22.0)	60 (20.0)	6 (13.6)	1 (10.0)	165 (17.2)
市町村	0 (—)	17 (6.1)	24 (9.1)	44 (14.7)	3 (6.8)	0 (—)	88 (9.2)
日赤	0 (—)	0 (—)	0 (—)	31 (10.3)	2 (4.5)	1 (10.0)	34 (3.5)
済生会・厚生連・北海道社会事業組合	0 (—)	8 (2.9)	10 (3.8)	13 (4.3)	0 (—)	0 (—)	31 (3.2)
厚生団・船員保険会・健保連・国保組合・共済組合・全国社会保険連合会	0 (—)	3 (1.1)	8 (3.0)	6 (2.0)	0 (—)	0 (—)	17 (1.8)
医師会	0 (—)	180 (64.5)	52 (19.7)	3 (1.0)	0 (—)	0 (—)	235 (24.5)
医療法人	0 (—)	25 (9.0)	19 (7.2)	14 (4.7)	0 (—)	0 (—)	58 (6.0)
学校法人	27 (42.2)	6 (2.2)	40 (15.2)	16 (5.3)	14 (31.8)	3 (30.0)	106 (11.0)
その他の法人(財団法人など)	0 (—)	22 (7.9)	32 (12.1)	26 (8.7)	0 (—)	0 (—)	80 (8.3)
その他(組合, 会社・企業など)	0 (—)	2 (0.7)	2 (0.8)	16 (5.3)	0 (—)	0 (—)	20 (2.1)
学校総数	64 (100.0)	279 (100.0)	264 (100.0)	300 (100.0)	44 (100.0)	10 (100.0)	961 (100.0)

4. 学校の規模

各学校の規模を定員数から『29人以下』『30～39人』『40～49人』『50～59人』『60～99人』『100人以上』とし、まとめたのが表4である。

「准看学校」では『29人以下』(22.9%), 「短大」では『60～99人』(54.5%), 「大学」では『29人以

表4 学生の定員数による学校の規模

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大 学	全 体
29人以下	0(—)	64(22.9)	32(12.1)	23(7.7)	0(—)	3(30.0)	122(12.7)
30～39人	1(1.6)	63(22.6)	56(21.2)	72(24.0)	0(—)	0(—)	192(20.0)
40～49人	43(67.2)	56(20.1)	93(35.2)	91(30.3)	3(6.8)	1(10.0)	287(29.9)
50～59人	3(4.7)	34(12.2)	51(19.3)	74(24.7)	8(18.2)	2(20.0)	172(17.9)
60～99人	12(18.8)	23(8.2)	18(6.8)	21(7.0)	24(54.5)	3(30.0)	101(10.5)
100人以上	5(7.8)	38(13.6)	13(4.9)	14(4.7)	9(20.5)	1(10.0)	80(8.3)
無回答	0(—)	1(0.4)	1(0.4)	5(1.7)	0(—)	0(—)	7(0.7)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)
平均定員数	55.3	52.5	43.9	45.8	74.1	51.5	49.3
定員数の最大と最少	30-160	15-600	15-150	15-170	40-100	20-100	

看護教育調査

下』と『60～99人』（各30.0%）の規模の学校が一番多かった。その他の課程では、『40～49人』の規模の学校が3割以上と一番高い割合であった。

また、「高校衛看」や「短大」を除いた各課程では、『29人以下』の規模の学校が122校もあり、そのうち、『20人未満』の規模の学校が、「准看学校」で14校（5.1%）、「進学コース」で1校（0.4%）、「3年課程」で2校（0.7%）あった。逆に、『100校以上』の規模の学校が80校もあり、特に「准看学校」と「短大」に多かった。

5. 課程の移行

調査対象校がどのような変遷をたどったのか、『准看護学校』『看護学校3年課程』『看護学校2年課程』『短期大学』からの移行についてたずねた。その結果を『移行をした』と『移行をしていない』とにまとめて示したのが、表5である。

「短大」を除く各課程では『移行をしていない』学校の割合が5割を越えていた。逆に「短大」では、『移行をした』学校の方の割合が75.0%と高かった。

『移行をした』学校に対して、その移行時期についてたずねた結果をまとめたのが、表6である。

移行の時期は、「進学コース」では1970年代（50.9%）、「3年課程」や「短大」、「大学」では1980年代に移行した学校が39.5～66.7%と多かった。

ところで、どの課程からの移行かについて、移行をしたことがある学校の割合が高い「進学コース」、「3年課程」、「短大」、「大学」の課程についてみると、次のような結果であった。

「進学コース」では、55校中52校（94.5%）が『准看護学校』からの移行で、2校（0.8%）が『看護学校2年課程』、1校（0.4%）が『看護学校3年課程』からの移行であった。

「3年課程」では、89校中41校（46.1%）が『准看護学校』からの移行で、34校（38.2%）が『看護学校2年課程』から、12校（13.5%）が『准看護学校→看護学校2年課程→看護学校3年課程』という段階的な移行であった。

「短大」では、33校中29校（97.0%）が『看護学校3年課程』からの移行で、1校（3.0%）が『看護学校2年課程』からの移行であった。さらに、『准看護学校→看護学校3年課程→短大』や『看護学校2年課程→看護学校3年課程→短大』という段階的な移行が2校（6.1%）、『准看護学校、看護学校2年課程と看護学校3年課程→短大』という複数課程の統合による移行が1校（3.0%）あった。

表5 他の課程からの移行の有無

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
移行した	1(1.6)	0(—)	55(20.8)	88(29.3)	33(75.0)	3(30.0)	194(18.7)
移行していない	50(78.1)	189(67.7)	153(58.0)	153(51.0)	9(20.5)	6(60.0)	560(58.3)
無回答	13(20.3)	90(32.3)	56(21.2)	59(19.7)	2(4.5)	1(10.0)	221(23.0)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)

表6 他の課程から移行した学校の数と移行時期

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
1課程から移行した学校数	1(100.0)	0(—)	55(100.0)	76(100.0)	30(100.0)	3(100.0)	165(100.0)
移行時期	1959年以前	0(—)	3(5.5)	6(7.9)	1(3.3)	0(—)	10(6.1)
	1960~1969年	1(100.0)	0(—)	18(32.7)	16(21.1)	2(6.7)	38(23.0)
	1970~1979年	0(—)	0(—)	28(50.9)	18(23.7)	11(36.7)	57(34.5)
	1980~1989年	0(—)	0(—)	4(7.3)	30(39.5)	16(53.3)	52(31.5)
	1990年以降	0(—)	0(—)	0(—)	3(3.9)	0(—)	3(1.8)
	無回答	0(—)	0(—)	2(3.6)	3(3.9)	0(—)	5(3.0)
2課程をへて移行した学校数 ¹⁾	0(—)	0(—)	0(—)	12(100.0)	3(100.0)	0(—)	15(100.0)
移行 ²⁾ 時期	1959年以前	0(—)	0(—)	3(25.0)	1(33.3)	0(—)	4(26.7)
	1960~1969年	0(—)	0(—)	0(—)	6(50.0)	0(—)	6(40.0)
	1970~1979年	0(—)	0(—)	0(—)	7(58.3)	3(100.0)	10(66.7)
	1980~1989年	0(—)	0(—)	0(—)	4(33.3)	0(—)	4(26.7)
	1990年以降	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)
	無回答	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)
移行した学校総数	1	0	55	88	33	3	180

註) 1) 2課程をへての移行とは、「准看学校→3年課程→短大」という段階的移行や「准看学校+進学コース→3年課程」という複数課程の統合などをいう。

2) 移行時期は、2課程をへての移行においては、複数となっている。

「大学」では、3校中2校(66.7%)が『短期大学』からの移行で、1校(33.3%)が『看護学校3年課程』からの移行であった。

6. まとめ

以上のことから、調査に回答してくれた学校の各課程ごとの主な特徴は、次のようにまとめられる。

「高校衛看」では、76.6%が衛生看護科単独の学校であり、併設課程がある学校では、看護高校専攻科との併設が100%である。学校の規模は、68.9%がほぼ1学年1クラスの学校である。設置主体としては、57.8%が国立または都道府県立の学校である。

「准看学校」では、79.2%の学校が准看学校、単独の学校であり、併設課程がある学校では、定時制の2年課程を併設している学校が89.2%である。学校の規模としては、50人未満の学校が65.6%を占めてはいるが、最大で600人の学校もあり多種多様である。設置主体としては、3校に2校が医師会立であり、各課程の中で一番高い比率となっている。

「進学コース」では、57.6%の学校が進学コース課程単独の学校である。また、併設課程がある学校の割合は42.4%と各課程の中で一番高い比率であり、併設課程としては、准看護学校との併設校が37.5%、3年課程との併設校が25.9%、その両方を併設している学校が8.0%である。学校の規模としては、40人台の学校が35.2%と多い。設置主体としては、3校に1校が国立や都道府県立、市町村立であり、4校に1校が医師会立または医療法人立である。

「3年課程」では、84.7%が3年課程単独の学校で、併設課程がある学校では、進学コースとの併設

看護教育調査

が97.2%とほとんどである。学校規模は、30～59人の規模の学校が79.0%と集中している。設置主体としては、58.3%が国立や都道府県立、市町村立の学校である。

「短大」では、81.8%が単独課程校で、併設課程がある場合でも、すべてが短大の2年課程かまたは大学との併設である。学校規模は、平均で74.1人と各課程の中で一番高く、また、100人以上の規模の学校も20.5%と各課程の中で一番高い。設置主体は、63.6%が国公立の学校である。

「大学」の規模は、20人から100人と多種多様である。設置主体は、60.0%が国公立の学校である。

Ⅱ 受験と入学

1. 受験

(1) 受験資格

受験に際してどのような資格が必要であるのかを、「性」と「年齢」とについてたずねた。

1) 男性の受験許可

「男性に対して受験を許可していますか」という質問の結果が、表7である。

「高校衛看」を除いた各課程では、男性に受験を許可している割合が5割以上と高かった。逆に、「高校衛看」では、男性に受験を許可していない割合が70.3%と高かった。

また、「3年課程」では、受験を許可している割合は53.3%と高かったが、受験を許可していない割合が45.7%もあり、「高校衛看」に次いで各課程中2番目に高い割合であった。

男性に対して受験を許可していない学校について、「男性に対する受験許可の予定」をたずねた結果が、表8である。

各課程とも『実施予定はない』と回答している学校の割合が5割以上と一番高かった。しかし、「3年課程」においては、『現在検討中』や『来年度から実施』と『2～3年後に実施』と回答している割合が合わせて43.8%もあり、『実施予定はない』(49.6%)とほぼ同じ割合となっていた。

2) 受験の年齢制限

「受験をする際に年齢制限がありますか」という質問の結果が、表9である。

表7 男性に対する受験許可の有無

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大 学	全 体
受験を許可していない	45(70.3)	64(22.9)	69(26.1)	137(45.7)	14(31.8)	3(30.0)	332(34.5)
受験を許可している	18(28.1)	215(77.1)	194(73.5)	160(53.3)	30(68.2)	7(70.0)	624(64.9)
無 回 答	1(1.6)	0(—)	1(0.4)	3(1.0)	0(—)	0(—)	5(0.5)
学 校 総 数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)